

わたしから始まる高知の食育

～毎月 19 日は「食育の日」～

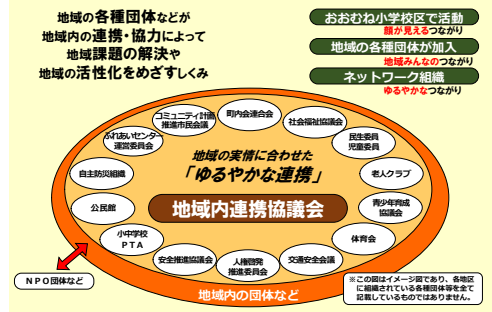


“地域コミュニティの再構築”とは

高知市では、市民との協働によるまちづくりの一環として、「地域コミュニティの再構築」に取り組んでおり、住民自治の継続が可能となるよう地域の特性を活かしながら地域の中で連携し、行政との協働による取組の中で役割分担を行いながら、地域の課題を発見し解決していくための新しい仕組みとして、おおむね小学校区ごとに、各種団体の連携組織「地域内連携協議会」の設立を提案しています。

今回は現在設立・認定されている 26 地域の「地域内連携協議会」の中から、「食」を通じたまちづくりを行っている「潮江南地域連合会（通称：みなみ連合）」の活動をご紹介します。

地域内連携協議会の概要



“みなみ食堂”と日本伝統文化の伝承“餅つき”



平成 29 年 2 月に設立・認定された「みなみ連合」では、主な活動の 1 つとして、子どもたち（地域）の学習・生活支援を行っており、学校が長期休みに入る期間に、食育支援として「みなみ食堂」を開設し、現在も継続して取り組まれています。巻きずし作りや七草粥など、「食」や「伝統文化」に触れる場を設け、たくさん子どもたちが「食」の大切さや楽しみを学び体験しています。運営についても多くの地域団体が携わっており、地域の支援体制も構築しつつ、夏休みなどの放課後学習室の開催に合わせて実施するなど、誰もが気軽に参加できるよう地域内で関わり合いながら取り組んでおり、地域が“つながる”場となっています。

そのほか、平成 30 年度から「餅つき」も実施しており、世代間交流による地域コミュニティの強化や日本伝統文化の伝承が図られています。



“住民自治と協働によるまちづくり”を目指して

「みなみ連合」のほか、「よこせと連携協議会」の「よこせと海辺のにぎわい市」や「浦戸湾海洋調査二口ギ釣り」、「土佐山夢づくりの会」の「4.29 とさやまの日」などでも「食」を通じたまちづくりに取り組まれており、地域内の情報共有や交流の場として、地域のつながりを一層深め、お互いに支え合える地域づくりに繋がっています。

地域コミュニティ推進課では、このような地域が主体的に取り組む活動に対する様々な支援を行っており、これからも市民と行政のパートナーシップのもと、ともに力を合わせ、地域での支え合い・助け合いによる地域の自治と、協働によるまちづくりを推進していきたいと考えています。

「地域コミュニティの再構築」や「地域内連携協議会」の詳細については、ホームページをご覧ください。

【高知市地域コミュニティ推進課ホームページ／「地域コミュニティの再構築」について】

<http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/saikoutiku.html>

